

世界史の中のインドネシアを考える

① 2014年3月27日（木）13:00-18:00

② 2014年3月28日（金）9:30-17:00

南山大学名古屋キャンパス J棟 1階 特別合同研究室（Pルーム）

第1セッション

「東南アジア刻文史料から見るインドネシア古代史の再検討（8～10世紀）」

山崎美保（東京外国語大学大学院生）

「中部ジャワ時代の刻文から見る王の系譜と王権」

川上桂（佛教大学大学院生）

「プレ・アンコール時代の刻文に見られる系譜：ジャワ刻文との比較を中心に（6～8世紀）」

第2セッション

「近世から近代へ（1750～1870年）」

小林篤史（京都大学大学院生）

「シンガポールを中心とした東南アジア域内交易の発展（1820年代～1870年）」

太田淳（広島大学）

「インドネシア諸島における貿易構造の変容と西カリマンタン社会（1750～1870年）」

第3セッション

「ムスリムと近代（1920～30年代）」

小林寧子（南山大学）

「イスラーム定期刊行物から見た中東：ナショナリズムとイスラーム」

山口元樹（東洋文庫研究員）

「インドネシア・ムスリム社会とアラブ地域：

エジプトの定期刊行物『ファトフ』を事例として」

服部美奈（名古屋大学）

「イスラームと健康をめぐる議論」

第4セッション

「1965年9月30日事件 —その衝撃と対外関係—」

高地薫（愛知県立大学研究員）

「9月30日事件と新体制：歴史とその語り」

山崎功（佐賀大学）

「資源ナショナリズムからみた9月30日事件と新体制」

松村智雄（東京大学研究員）

「9月30日事件のインドネシア国内における波及経緯：

西カリマンタンの事例を中心に」

馬場公彦（岩波書店編集局）

「華僑社会における9月30日事件の衝撃——インドネシア・中国・台湾」

この講演会のテキスト情報が
携帯電話・スマートフォンで
読み取れます。 →



南山大学外国語学部アジア学科 合同研究室
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地
Phone: 052-832-3111(代表)
E-mail: dpt-ajia@nanzan-u.ac.jp